

年末年始が過ぎ、ようやく気持ちが落ち着いてきた今日この頃です。

今月のアレンジは、花器に注目です！

昨年11月、牟礼町のジョージナカシマ記念館に初めて行ってみました。その時、スタッフの方に陶芸展の案内の葉書をいただきました。葉書には、コバルトブルーの釉薬がとても美しい器の写真。「この陶芸展には絶対に行こう」と思いました。

そして、陶芸展に足を運んだところ、なんと、その陶芸展の作家さんは、10年前に三木町のカフェで偶然出会い、少しではありますが、会話を交わしたことのある方だったのです！！高松市在住のアメリカ出身の陶芸家、ウィリアム・ヴォーグラーさん。思わぬ出会いに驚きと嬉しさのあまり、ウィリアムさんに話しかけ、奥様ともお話し、後日アトリエにお邪魔し、この花器を譲っていただきました。

瀬戸内の穏やかな海を思わせるような優しい波模様・・・私には、春のお日様の光が波にきらきらと揺れる景色が思い浮かびました。

花器の存在感が生きるように、季節の花である椿と水仙をシンプルに、ただその思いです。

事務長 高橋 圭位子